

令和8年度 農作物病虫害発生予察9月月報

令和8年(2026年)10月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	26.7	25.6	1.1	30.5	30.8	△ 0.3	23.8	21.7	2.1
9.2	26.0	24.9	1.1	30.9	30.2	0.7	23.2	21.0	2.2
9.3	25.9	24.1	1.8	30.4	29.4	1.0	23.3	20.1	3.2
9.4	25.2	23.1	2.1	29.6	28.6	1.0	21.9	19.0	2.9
9.5	23.8	22.1	1.7	29.6	27.6	2.0	18.5	17.8	0.7
9.6	22.1	21.2	0.9	24.7	26.7	△ 2.0	19.4	16.8	2.6
平均・計	25.0	23.5	1.5	29.3	28.9	0.4	21.7	19.4	2.3
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
9.1	30.5	34.3	△ 3.8	19.5	26.7	△ 7.2			
9.2	2.5	31.5	△ 29.0	8.3	26.0	△ 17.7			
9.3	21.5	29.7	△ 8.2	14.8	25.5	△ 10.7			
9.4	6.0	29.0	△ 23.0	21.1	25.5	△ 4.4			
9.5	0.0	28.6	△ 28.6	43.6	25.5	18.1			
9.6	80.0	26.9	53.1	11.3	25.5	△ 14.2			
平均・計	140.5	180.0	△ 39.5	118.6	154.7	△ 36.1			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 「コシヒカリ」等の早生品種の収穫作業は終了。収量は平年並の見込み。また、中生品種の出穂期は平年並、穂数はやや少ない。成熟期は概ね平年並の見込み。
- (2) ダイズ : 6月播種は子実肥大期、7月播種は子実肥大始め。9月に降雨があったものの降水量としては平年に比べかなり少なく、8月の干ばつの影響を強く受けており、莢数は少なく子実肥大も抑制された。
- (3) カンキツ : 果実肥大は概ね平年並～やや小さい。梅雨明け以降の高温・乾燥により日焼け果が発生しており、乾燥後の降雨に伴う急激な果実肥大により、一部で裂果も見られる。糖度は平年よりも高く、酸度は平年並～やや高い傾向にある。
- (4) ナシ : 果実肥大は品種や産地によってばらつきが見られるものの、概ね平年並～やや小さく、糖度は平年並からやや高い。
- (5) キャベツ : 8月中下旬頃から9月下旬にかけて定植が行われた。降雨が少なかったことにより、活着不良や初期生育不良が見られた。また、早い作型はほ場の乾燥、遅い作型は降雨によりほ場準備が出来ず、定植が遅れたほ場が見られた。
- (6) イチゴ : 定植作業は9月中旬から下旬頃までに行われた。9月以降は気温が低下したため、かおり野の花芽分化時期は過去5年間で最も早くなった。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2026年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病(穂いもち) (調査ほ場数：中旬53 下旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率17.0% (平年23.3%)、発病株率2.9%(平年 5.9%)、発病穂率0.2%(平年1.1%)、被害 度0.1(平年0.8)で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.7% (平年28.6%)、発病株率7.1%(平年 10.0%)、発病穂率0.6%(平年2.0%)、発 病度0.3(平年1.4)で平年並であった。	県内全域	少 2,441
紋枯病 (調査ほ場数：中旬57 下旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年28.6%)、発病株率3.8%(平年 6.3%)、発病度1.8(平年2.6)で平年並で あった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年33.9%)、発病株率4.4%(平年 8.8%)、発病度2.7(平年3.9)で平年並で あった。	県内全域	中 222 少 2,441 計 2,663
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率70.2% (平年44.0%)、発病株率44.9%(平年 24.3%)、発病度12.6(平年6.4)で平年に比 べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率76.7% (平年54.3%)、発病株率55.6%(平年 34.4%)、発病度14.7(平年9.8)で平年に比 べやや多かった。	県内全域	中 3,773 少 4,217 計 7,990
白葉枯病 縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並であった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：中旬53 下旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率15.1% (平年7.4%)、発病株率2.4%(平年 1.0%)、発病穂率0.1%(平年0.1%)で平年 に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年11.2%)、発病株率3.5%(平年 2.1%)、発病穂率0.2%(平年0.1%)で平年 に比べやや多かった。	県内全域	少 1,776
稲こうじ病 (調査ほ場数：中旬51 下旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年 6.5%)、発病株率0%(平年1.0%)で平年に 比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.3%(平 年18.3%)、発病株率0.1%(平年1.7%)で 平年に比べ少なかった。	県内全域	少 222

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ トビイロウンカ (調査ほ場数：中旬57、 下旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3%(平 年22.6%)、10株当たり虫数0.1頭(平年 15.7頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平年0.9頭)で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年21.9%)、10株当たり虫数1.6頭(平年 10.7頭)、10株当たり短翅型成虫数0.1頭(平 年0.3頭)で平年に比べやや多かった。 定期巡回調査経路上における坪枯れ発生ほ 場視認調査では、中旬調査、下旬調査共に 発生が認められなかった。	県内全域	中 222
			少 1,776
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率70.2% (平年39.5%)、被害葉率2.3%(平年1.5%) で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率70.0% (平年42.6%)、被害葉率7.5%(平年2.7%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	計 1,998
			多 222
			中 1,776
			少 6,880
			計 8,878
イネクロカメムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年 1.6%)、25株あたり虫数0頭(平年0.0頭)で 平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年 1.7%)、25株あたり虫数0頭(平年0.0頭)で 平年並であった。	—	—
ニカメイガ、イネ ヨトウ	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並であった。	—	—
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：中旬27)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率44.4% (平年49.7%)、20回すくい取り虫数1.0頭 (平年2.0頭)平年に比べやや少なかった。 主要種はイネカメムシ、ミナミアオカメム シ、クモヘリカメムシであった。	県内全域	中 666
			少 1,998
			計 2,664
イネカラバエ (調査ほ場数： 53)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.3%(平 年0%)、被害株率1.3%(平年0%)で平年に 比べ多かった。	県内全域	少 1,110
ダイズ (調査ほ場数：21) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年38.2%)、発病株率27.6%(平年 21.8%)、発病度6.9(平年5.6)で平年並で あった。	県内全域	少 376
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年 33.6%)、発病株率0%(平年23.7%)、発病 度0(平年6.2)で平年に比べ少なかった。	—	—
立枯性病害(白絹 病、黒根腐病等)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年4.4%)、発病株率0.2%(平年0.1%) で平年に比べ多かった。 発生の主体は、白絹病であった。	県内全域	少 125
褐色輪紋病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年42.0%)、発病株率8.2%(平年 24.3%)、発病度2.0(平年6.4)で平年並で あった。	県内全域	少 251

2026年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率61.9%(平成46.9%)、1a当たり白変か所数2.2か所(平成1.0か所)、㎡当たり虫数1.0頭(平成1.6頭)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率52.4%(平成32.0%)、1a当たり白変か所数0.9か所(平成0.9か所)、㎡当たり虫数0.5頭(平成1.8頭)で平成並であった。 齢期は若中齢が主体であった。	県内全域	甚	125
			中	84
吸実性カメムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7%(平成67.1%)、㎡当たり虫数0.4頭(平成0.7頭)で平成に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.7%(平成74.8%)、㎡当たり虫数1.6頭(平成1.2頭)で平成に比べやや多かった。	県内全域	少	334
			計	543
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7%(平成67.1%)、㎡当たり虫数0.4頭(平成0.7頭)で平成に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.7%(平成74.8%)、㎡当たり虫数1.6頭(平成1.2頭)で平成に比べやや多かった。	県内全域	多	42
			中	334
サヤムシガ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7%(平成67.1%)、㎡当たり虫数0.4頭(平成0.7頭)で平成に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.7%(平成74.8%)、㎡当たり虫数1.6頭(平成1.2頭)で平成に比べやや多かった。	県内全域	少	376
			計	752
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3%(平成22.6%)、10葉当たり虫数6.2頭(平成5.0頭)で平成並であった。	県内全域	多	42
			中	84
ウワバ類等のチョウ目	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3%(平成22.6%)、10葉当たり虫数6.2頭(平成5.0頭)で平成並であった。	県内全域	計	126
			少	167
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0%(平成6.3%)、25株当たり被害か所数は0.2(平成0.3)で平成並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成6.0%)、25株当たり被害か所数は0(平成0.3)で平成並であった。	県内全域	少	167
			少	167
ウワバ類等のチョウ目	中旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0%(平成20.6%)、被害株率0.5%(平成4.2%)で平成に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成6.8%)、被害株率0%(平成0.9%)で平成に比べ少なかった。	県内全域	中	42
			少	459
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6%(平成76.7%)、㎡当たり虫数0.4頭(平成1.4頭)で平成に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1%(平成68.2%)、㎡当たり虫数0.3頭(平成0.8頭)で平成に比べやや少なかった。 主要種はウワバ類であった。	県内全域	計	501
			少	292
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平成18.5%)、㎡当たり虫数0.1頭(平成0.1頭)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平成8.6%)、㎡当たり虫数0.5頭(平成0.1頭)で平成に比べ多かった。	県内全域	少	292
			少	292

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ フタスジヒメハムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年77.1%)、㎡当たり虫数4.7頭(平年9.9頭)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平年84.7%)、㎡当たり虫数3.8頭(平年13.7頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	多	251
			中	125
			少	251
			計	627
コガネムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年5.7%)、被害度0.1 (平年1.1)で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年2.1%)、被害度0.0 (平年0.4)で平年並であった。	県内全域	少	42
ダイズサヤタマバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年9.0%)、被害率0.6% (平年0.2%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	167

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年8.2%)、発病果率3.8% (平年0.8%)、発病度1.8 (平年0.3)で平年に比べ多かった。	県内全域	中	54
			少	54
			計	108
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率94.7% (平年81.4%)、発病果率36.4% (平年22.5%)、発病度13.6 (平年5.3)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	54
			中	107
			少	806
			計	967
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率84.2% (平年23.5%)、寄生葉率9.1% (平年4.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	54
			少	806
			計	860
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年0.1%)、寄生果率0.2% (平年0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	54
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年17.3%)、寄生新梢率0.2% (平年1.5%)で平年並であった。主要種はユキヤナギアブラムシであった。	県内全域	少	161
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)で平年並であった。	—	—	—
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年2.6%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	54
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年30.1%)、寄生果率6.0% (平年2.5%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚	54
			多	54
			中	107
			少	107
			計	322

2026年9月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年14.4%)、被害果率0.3% (平年0.5%) で平年並であった。	県内全域	少 215
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年22.8%)、発病葉率1.6% (平年0.3%)、発病新梢率18.4% (平年5.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 14 多 7 中 7 少 14 計 42
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年18.7%)、発病葉率0.4% (平年1.0%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 16
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病葉率0% (平年0.1%) で平年並であった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.0%)、寄生葉率0% (平年0.3%) で平年に比べ少なかった。	—	—
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.3%)、寄生葉率0% (平年0.6%) で平年並であった。	—	—
ナシヒメシンクイ	8月26日～9月25日のフェロモントラップ (萩市)における誘殺数は31頭 (平年38.7頭) で平年並であった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	8月21日～9月20日の予察灯 (県内3か所)における誘殺数は571頭 (平年307頭) で平年に比べ多かった。主要種はツヤアオカメムシであった。	県内全域	—

3 野菜

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数:12) モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年12.1%)、10株当たり虫数0.6頭 (平年0.1頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 13 少 25 計 38
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.2%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並であった。	—	—
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.6%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並であった。	—	—
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率83.3% (平年42.2%)、寄生株率9.2% (平年4.5%) で平年に比べやや多かった。主体は卵～若齢幼虫であった。	県内全域	多 25 中 75 少 25 計 125

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年16.3%) 寄生株率5.8% (平年0.7%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	25
			中	38
			少	13
			計	76
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年8.9%)、寄生株率1.7% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	13
			少	38
			計	51
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年3.7%)、寄生株率0.7% (平年0.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	13
			少	13
			計	26
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年9.1%)、寄生株率1.0% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	50
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年23.2%)、寄生株率0.5% (平年1.0%) で平年並であった。	県内全域	少	25
イチゴ (調査ほ場数:10) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.6%)、発病株率0% (平年0.6%)、発病葉率0% (平年0.2%) で平年並であった。	—	—	—
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.5%)、発病株率0% (平年0.1%) で平年並であった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年22.8%)、寄生株率3.0% (平年3.7%) で平年並であった。	県内全域	少	10
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年14.7%)、寄生株率0.4% (平年0.6%) で平年並であった。	県内全域	少	5
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年18.6%)、寄生株率0% (平年6.2%) で平年に比べ少なかった。	—	—	—
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年9.1%)、寄生株率0.6% (平年2.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	14
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.9%) 寄生株率0% (平年0.2%) で平年並であった。	—	—	—
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並であった。	—	—	—

2026年9月

2020年9月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
野菜、花き類 アブラムシ類	9月の黄色水盤トラップ(防府市牟礼)の誘殺数は150頭(前年106頭)であった。	県内全域	—																					
ハスモンヨトウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は7,419頭(前年6,553頭)であった。 8月21日～9月20日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数は8,467頭(平年9,414頭)で平年並であった。 表1 フェロモントラップでの誘殺数(頭) <table> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>3,431</td> <td>3,467</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>1,239</td> <td>1,109</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>70</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>2,169</td> <td>2,106</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,558</td> <td>2,528</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8,467</td> <td>9,414</td> </tr> </table> ※8月21日～9月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	3,431	3,467	山口市阿東	1,239	1,109	萩市明木	70	204	下関市清末	2,169	2,106	柳井市伊陸	1,558	2,528	合 計	8,467	9,414	県内全域	—
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	3,431	3,467																						
山口市阿東	1,239	1,109																						
萩市明木	70	204																						
下関市清末	2,169	2,106																						
柳井市伊陸	1,558	2,528																						
合 計	8,467	9,414																						
オオタバコガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は0頭(前年162頭)であった。	県内全域	—																					
シロイチモジヨトウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は2,332頭(前年1,039頭)であった。	県内全域	—																					
コナガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は0頭(前年3頭)であった。	県内全域	—																					

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病虫害防除所)

TEL (0835) 28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp